



— 概要版 —

令和7年3月
益田市

計画策定の趣旨

平成29年5月に自転車の活用に関する新たな課題に対応するため「自転車活用推進法」が施行され、令和3年5月28日に、昨今の社会情勢の変化等を踏まえ、持続可能な社会の実現に向けた自転車の活用の推進を一層図るため、国の第2次自転車活用推進計画が策定されたところです。

本市においては、令和2年6月に「益田市自転車活用推進計画(以下、「第1次計画」という。)」を策定し、「都市環境」、「健康増進」、「観光地域づくり」、「安全・安心」の4つの分野から、身近でアクセシビリティの高い交通手段である自転車の利用を推進し、市民の健康増進や環境負荷の低減による良好な都市環境の形成を図るとともに、サイクルツーリズムの推進による交流人口の拡大や地域経済の活性化等、人口減少、少子高齢化が進展する本市の抱える課題解決に資する地方創生の取り組みを推進してきました。

市民の自転車利用のさらなる促進と地域振興を目指す本市ならではの自転車によるまちづくりをより一層推進し、本計画の将来像である「暮らしやすいまち 訪れたいまち 100ZERO のまち 益田」の実現を目指すため、「第2次益田市自転車活用推進計画」を策定します。

計画の位置づけ

- 本計画は、自転車活用推進法第11条の規定に基づく、市町村自転車活用推進計画として策定します。市の最上位計画である「益田市総合振興計画」に基づく「自転車施策に関するマスタープラン」として位置付け、本市における自転車の活用に関する施策を総合的に推進します。
- 策定にあたっては、国の「第2次自転車活用推進計画」及び「島根県自転車活用推進計画」を踏まえるとともに、自転車関連計画のハード施策を担う「益田市自転車ネットワーク計画」をはじめ、関連計画との整合を図ります。

【国の法律・計画】

自転車活用推進法（平成29年5月施行）

- ・自転車の活用による環境負荷の低減、災害時における機動的な特性
- ・自動車の依存の程度低減による国民の健康増進及び交通の混雑緩和
- ・交通体系における自転車の役割の拡大
- ・交通の安全確保

第2次自転車活用推進計画（令和3年5月閣議決定）

自転車の活用の推進に関する総合的な計画、以下4つの目標を設定。

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現
- ・サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現
- ・自転車事故のない安全で安心な社会の実現

【島根県の計画】

島根県自転車活用推進計画（令和2年6月策定）

【益田市の上位計画】

- 「第6次益田市総合振興計画」
- 「益田市国土強靱化地域計画」
- 「第2期まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略」

【益田市の関連計画】

- （都市）益田市都市計画マスタープラン、益田市立地適正化計画
- （環境）益田市地球温暖化対策実行計画
- （健康）第2次健康ますだ市21計画
- （公共交通）益田市地域公共交通計画
- （交通安全）第11次益田市交通安全計画 など

益田市自転車活用推進計画

益田市自転車ネットワーク計画
（自転車関連計画：ハード施策）

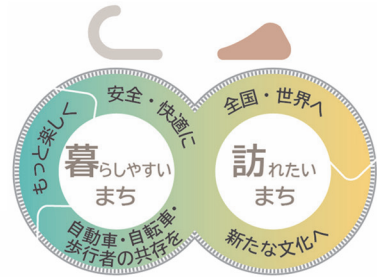
計画の将来像

- 本市では、誰もが自転車を利用しやすい環境の下で、さまざまな分野で効果をもたらす自転車を活用し、地域活性化に寄与する「自転車によるまちづくり」を推進するため、次の将来像を目指します。

暮らしやすいまち 訪れたいまち

100ZEROのまち 益田

100ZEROのまち



自転車が地域課題解決の追い風に

自転車で快適 100%・自転車事故がZEROのまち それは『暮らしやすいまち』
益田を知らない人ZERO・益田は感動100%のまち それは『訪れたいまち』



暮らしやすいまちへ
すべての人にとっても
0歳から100歳を超えても

自転車は安全・快適に

安全・安心のもとで快適に通行できる自転車通行環境が整ったまちへ。

自転車でもっと楽しく

市民が自転車に親しみ、自転車に乗る楽しみを知っているまち。自転車に乗ることで、毎日を生き生きと元気に暮らせるまちへ。

自動車・自転車・歩行者の共存を

自動車・自転車・歩行者が、相互に思いやり、すべての市民が安全・安心に移動できるまちへ。



益田の良いところ、全国・世界へ

豊かな自然やサイクリング環境、市民のおもてなしで、益田ならではの感動を与える「益田的観光スタイル」を全国・世界へ発信できるまち。そして訪れたいまちとして選ばれるまちへ。

自転車を益田の新たな文化へ

自転車のイベントや大会を市民が一緒になって楽しみ、盛り上げるまち。益田に訪れたすべてのサイクリストや来訪者との交流を通じて、市民が自転車文化を育むまちへ。

計画の区域、期間

- 計画区域：益田市全域
- 計画期間：令和7年度(2025)～令和11年度(2029)【概ね5年間】

益田市版 SDGs と自転車施策との関わり

① 国際社会における SDGs

- 2015 年の国連サミットにて採択された SDGs(エスディーズ)は、「誰一人取り残さない社会の実現」を理念として、環境や健康、持続可能な消費など、世界の様々な問題を 2030 年(令和 12 年)までに解決するための国際的な開発目標であり、17 の目標(ゴール)を設定しています。

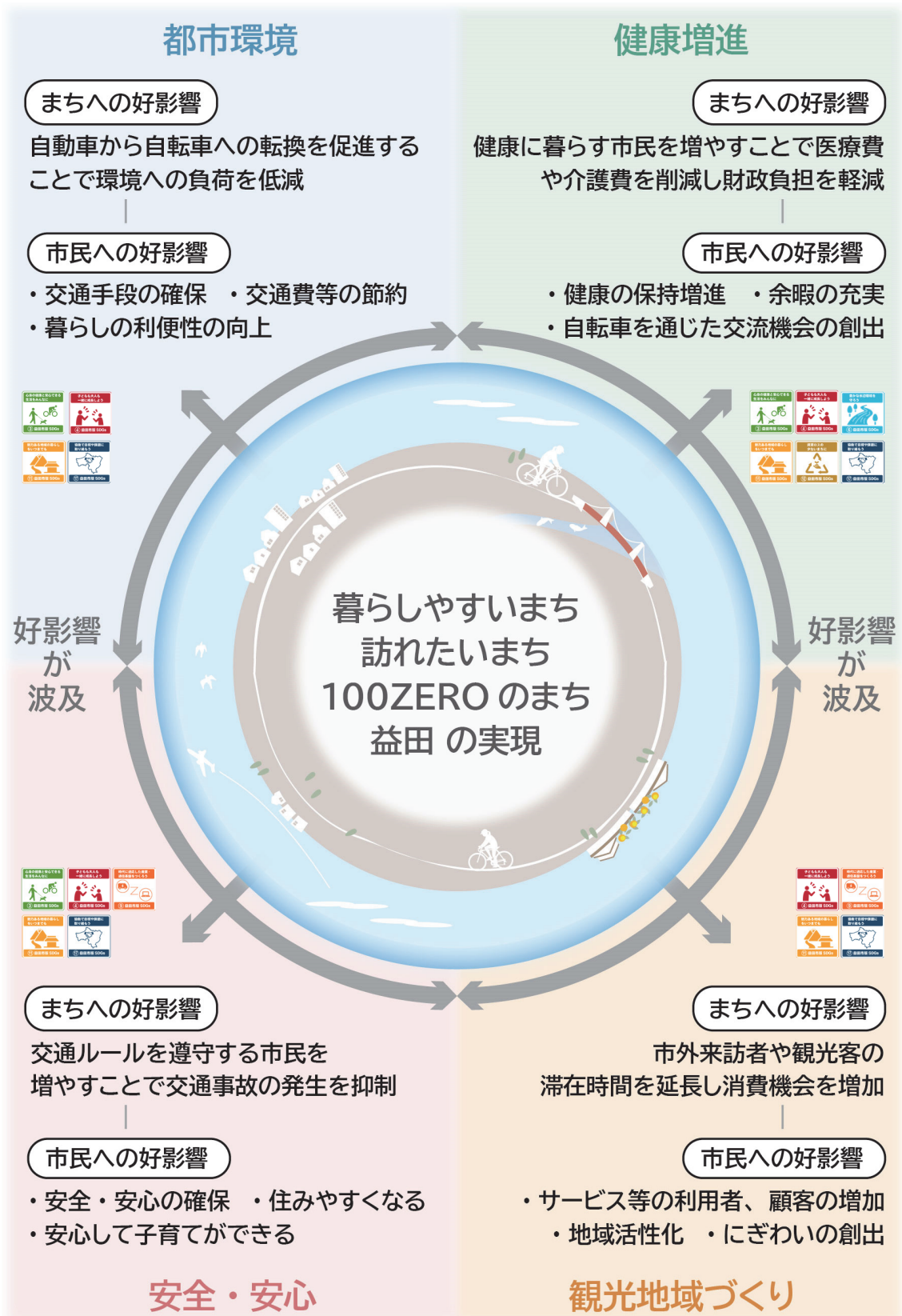
② 益田市版 SDGs

- 本市では、SDGs を推進するに当たり、「何を目指せば良いのか」という視点から、国連の目指す「誰一人取り残さない」という基本理念と 17 の目標の方向性を継承しつつ、本市の地域課題等を踏まえ、それぞれの目標が示す方向性を益田市に置き換えた「益田市版 SDGs」を設定しています。
- 益田市版 SDGs と本市の自転車によるまちづくりの施策との関わりは以下の通りです。

益田市版 SDGs		益田市版 SDGs と 自転車施策との関わり
③心身の健康と安心できる生活をみんなに ・生涯を通じて心身ともに健康で、子どもから高齢者まで安心して生活ができるまち	 心身の健康と安心できる生活をみんなに ③ 益田市版 SDGs	・健康の保持増進 ・自転車関連事故の軽減
④子どもも大人も一緒に成長しよう ・地域の中で子どもたちの「生きる力」を育み、大人も一緒に成長できるまち	 子どもも大人も一緒に成長しよう ④ 益田市版 SDGs	・自転車に関する各種情報提供・発信 ・交通安全教育の実施
⑥豊かな水辺環境を守ろう ・高津川を始めとした美しい水辺環境がいつまでも残るまち	 豊かな水辺環境を守ろう ⑥ 益田市版 SDGs	・高津川沿線の良好な環境の保全と利用
⑨時代に適応した産業・通信基盤をつくろう ・先端技術を活用し、新たな時代に適応できる産業基盤や通信基盤が整備されたまち	 時代に適応した産業・通信基盤をつくろう ⑨ 益田市版 SDGs	・デジタル化の推進
⑪魅力ある地域の暮らしをいつまでも ・地域の魅力を活かし、安心して住み続けられるまち	 魅力ある地域の暮らしをいつまでも ⑪ 益田市版 SDGs	・自転車通行環境の整備 ・自転車を利用しやすい環境の整備 ・地元企業・団体との連携 ・新たな事業の創出
⑫資源ロスの少ないまちに ・限りある資源を有効に活用した、ロスの少ないまち	 資源ロスの少ないまちに ⑫ 益田市版 SDGs	・自転車利用による環境負荷の低減
⑰協働で目標や課題に取り組もう ・市民みんなの協働により、あらゆる目標や課題に取り組むまち	 協働で目標や課題に取り組もう ⑰ 益田市版 SDGs	・市民協働 ・関係機関との連携

自転車によるまちづくりでつくる好影響

- 国の自転車活用推進計画に基づく、「都市環境」、「健康増進」、「安全・安心」、「観光地域づくり」の4つの分野・観点から自転車によるまちづくりを推進し、「まち」にも「市民」にも好影響を与えます。



自転車によるまちづくり施策

【都市環境】

基本方針1 自転車を快適に利用することができる“まち”の形成

益田市がめざす姿

- ① 安全・安心、快適な自転車通行空間が整備されている
- ② 道路の維持管理が適切に行われ、道路の視認性・安全性・景観性等が確保されている
- ③ 駐輪施設に関する適正な設置及び周知啓発が行われ、まちに放置自転車等がない

施策1 自転車通行空間の整備 \重点施策/

施策2 自転車を利用しやすい環境の整備

施策と関連する 益田市版 SDGs



最終目標	実績値(R6)	目標値(R11)
優先的計画策定エリアにおける 自転車通行空間の整備延長 (国道・県道・市道)	1.45Km (5.7%) ※R6 年.3 月末時点	25.4km (100%)

【健康増進】

基本方針2 自転車を活用した健康で心豊かなライフスタイルへの転換

益田市がめざす姿

- ① 市民が自転車利用をはじめるきっかけづくりとして、自転車の楽しさを知る機会や体験する機会等が多様なところで提供されている
- ② 誰もが利用しやすく走りやすいサイクリングコースが整備されている
- ③ 市民が自転車で余暇を楽しみながら健康増進が図られている
- ④ サイクルスポートが身近にあり、市民が自転車競技に慣れ親しんでいる
- ⑤ 一人でも多くの市民が自転車の楽しさやメリットを知り、自転車を取り入れたライフスタイルへの転換が図られている

施策3 自転車に親しむ機会の創出 \重点施策/

施策4 自転車の楽しみ方、健康増進効果等の情報発信

施策5 新たなサイクリングコースの利活用・維持管理等の推進

施策6 サイクルスポートの振興

施策7 自転車通勤の促進

施策と関連する 益田市版 SDGs



最終目標	実績値(R6)	目標値(R11)
(市民アンケート調査：自転車の 利用頻度)月 1 回以上自転車 を利用している市民の割合	15%	20%

【安全・安心】

基本方針3 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり

益田市がめざす姿

- ① 自転車をはじめとする道路利用者が交通ルールを遵守している
- ② 市民が自転車事故発生箇所やヒヤリハットが多い場所を把握し、注意している
- ③ 自動車・自転車が相互に思いやりを持ち、車道をシェアしている
- ④ 自転車事故に備えて、自転車保険の加入やヘルメットが着用されている
- ⑤ 自転車の日常点検や定期的な整備が適切に行われている

施策8 子どもに重点を置いた交通安全教育の推進 \重点施策/

施策9 多様な媒体を活用した情報発信による交通ルール等の周知・啓発 \重点施策/

施策11 自転車保険加入やヘルメット着用、定期点検による安全利用の促進

施策10 自動車ドライバーに対する車道シェアの意識啓発

施策と関連する
益田市版 SDGs



最終目標	実績値(R6)	目標値(R11)
自転車関連事故件数 (前年の事故件数で評価)	6件/年 ※R5 年.12 月末時点	0件/年 ※R10 年.12 月末時点

【観光地域づくり】

基本方針4 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり

益田市がめざす姿

- ① サイクルツーリズムの適地として認知され、多くのサイクリストが来訪している
- ② 自転車の利用環境やサイクルツーリズムの受け入れ体制が充実している
- ③ サイクリストや旅行者に自転車で益田を楽しめる提案や環境を提供できている
- ④ 魅力ある観光地域として、訪れた方がリピーターとなっている

施策12 サイクリスト誘客PR活動の推進 \重点施策/

施策13 旅行者の受け入れ体制の充実 \重点施策/

施策14 自転車で周遊したくなる・立ち寄りたくなる仕掛けづくりの推進

施策15 自転車を利用する来訪者の属性、ニーズ、周遊動向等の調査・把握

施策と関連する
益田市版 SDGs



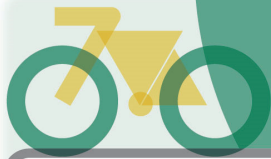
最終目標	実績値(R6)	目標値(R11)
市外来訪者のレンタサイクル 利用件数	567 件/年 ※R6 年.3 月末時点	900 件/年

これからの益田市 どう変わる？

基本方針1 自転車を快適に利用することができる“まち”の形成



基本方針2 自転車を活用した健康で心豊かなライフスタイルへの転換



健康増進

これまでは...

子どもの頃は
自転車に乗ってたけど
大人になったらクルマが便利で
自転車は使わなくな
ったなあ...



これからは...

普段自転車に乗らない人にも
自転車ならではの楽しさや魅力を知ってもらえる、
体験できる機会がたくさん！



マルシェイベントに
自転車体験もあるんだ
楽しそう♪

また自転車に
乗って
みようかな〜♪

施策 3 自転車に親しむ機会の創出 | 重点施策

施策 4 自転車の楽しみ方、健康増進効果等の情報発信

これからの益田市 どう変わる？

基本方針3 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり



安全・安心

これまでは...

乗り方は
教えてあげられるけど
正しい交通ルールまで
きちんと教えられるかなあ...



子どもが事故に
あわないか心配だなあ。
危険な場所が
分かるといいのに...



交通ルールを守らない
自転車がいって危ないなあ。
大人にも自転車の
交通ルールを学ぶ機会が
もっとあればいいのに...



これからは...

子育てや子供の成長に合わせた
自転車交通安全教育の支援を充実！ヒヤリハットや
事故の場所もスマホで手軽に確認できる！

子どもに
きちんと交通ルール
を教えられる！



一人で乗ることが
多くなってきたから
気を付けよう！



危険な場所も
すぐ分かる
皆で共有できる！



街の色々な場所で
自転車の交通ルール等を
学ぶ機会がたくさん！



街に
自転車の
情報が増えたな！



施策 8 子どもに重点を置いた交通安全教育の推進 | 重点施策

施策 9 多様な媒体を活用した情報発信による交通ルール等の周知・啓発 | 重点施策

基本方針4 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり

観光地域づくり

これまでは...



これからは...

自転車を地域交流の懸け橋として、
よりたくさんの人に
益田市をたっぷり楽しんでもらえるように！

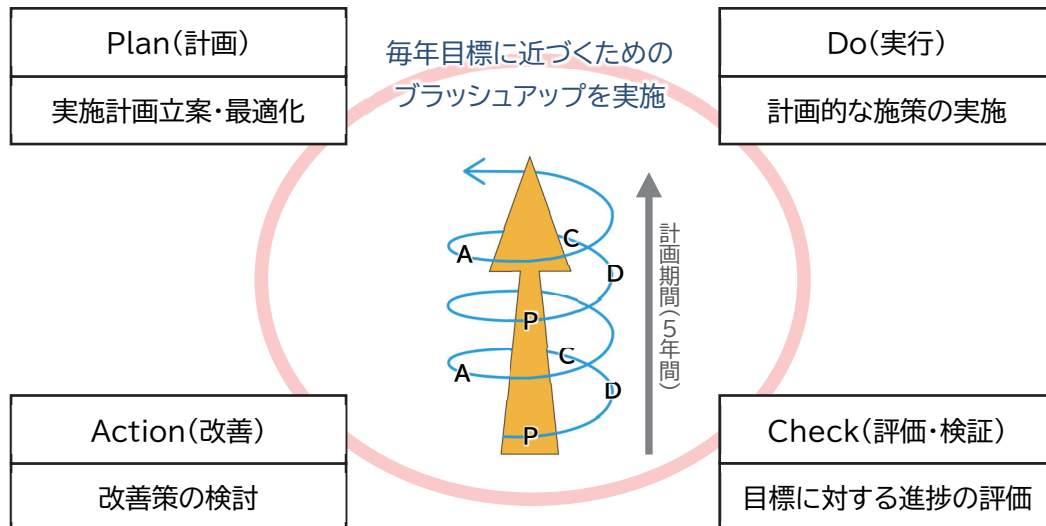


施策 13 旅行者の受け入れ体制の充実 | 重点施策

施策 14 自転車で周遊したくなる・立ち寄りたくなる仕掛けづくりの推進

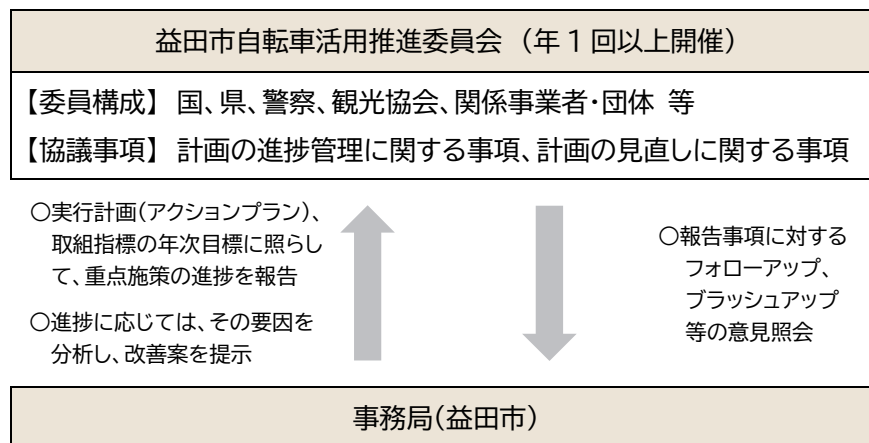
計画の進行管理

- 本計画の「将来像の実現」に向けては、計画に掲げた目標(Plan)の確実な達成のため、計画的に施策を実行していく(Do)とともに、取組結果を評価・検証(Chack)し、問題があればその要因を分析して見直し(Action)を行い、新たな取組の計画を立てる(Plan)、PDCA サイクルにより着実な事業の推進を図ります。



PDCA によるスパイラルアップのイメージ

- 取組結果の評価・検証(Chack)、フォローアップは「益田市自転車活用推進委員会」が行います。当該委員会は年1回以上開催するものとします。



益田市自転車活用推進委員会の開催

第2次益田市自転車活用推進計画〔概要版〕

発行年月：令和7年3月

発行：益田市

編集：産業経済部 観光交流課

〒698-8650 島根県益田市常盤町1番1号

TEL 0856-31-0331 FAX 0856-23-4655